



マンション管理組合向け動画配信

予想される工事費高騰に備えよ 2021年タワマン大規模修繕の危機?!

今、マンション大規模修繕工事マーケットに異変が起きています。東京オリンピックによる工事費高騰を懸念して計画を延期してきた組合、更にコロナ禍で大規模修繕工事についての検討を足止めせざるを得なかった組合が昨年秋頃から一気に動き出しています。過去、供給戸数の多かった時代のマンションが2回目の大規模修繕工事時期を迎えていることもニーズを急増させている要因の1つです。需要と供給のバランスが崩れ、すでに施工会社選定においても応募する施工会社が半減している状況です。大規模修繕工事費用の高騰も懸念されます。

この事態に一番大きな影響を受けるのがタワーマンションでしょう。人手不足に悩む建設業界ですが、タワーマンションは工事期間が長期に及び、施工会社も現場代理人や職人を長期間確保する必要があります。さらに足場工事などのタワーマンション特有の工法や工夫が必要とされることもあり、対応できる施工会社は限られています。もともと工事価格が一般的なマンションに比べ高額になるため工事費高騰の影響を受け修繕積立金が不足するマンションも出てくるでしょう。これまで通りの備えでは、スムーズに大規模修繕工事を実施できない可能性があるのです。

そこで、業界初の個人向け総合不動産コンサルティング・ホームインスペクション（住宅診断）、マンション管理組合向けコンサルティングを行う「不動産の達人 株式会社さくら事務所」（東京都渋谷区/社長：大西倫加）では、「大規模修繕工事マーケットの最前線 タワマン大規模修繕に異変?」と題した解説動画を1月19日（火）に公開しました。本動画では、当社マンション管理コンサルタントがここ数年の大規模修繕工事の傾向を交えつつ、このマーケットの異変にどうそなえるべきか?をマンション管理組合の皆さまに向けて解説しています。これから大規模修繕工事を迎える多くのマンションの方にご覧いただければと思います。

予想される工事費高騰に備えよ 2021年タワマン大規模修繕の危機?!

【解説】

さくら事務所マンション管理コンサルタント
土屋 輝之（つちや てるゆき）

【本動画でお話すること】

- ・大規模修繕工事マーケット予測
- ・過去の傾向から見るニーズの高まり
- ・タワーマンションは特に要注意のそのワケ
- ・管理組合はどう備えるべきか?

【視聴 URL】

https://youtu.be/u6_VYz9IX2s

（さくら事務所公式 YouTube チャンネル）



■不動産の達人 株式会社さくら事務所■（東京都渋谷区/代表取締役社長：大西倫加） <https://www.sakurajimusyo.com/>

株式会社さくら事務所は「人と不動産のより幸せな関係を追求し、豊かで美しい社会を次世代に手渡すこと」を理念として活動する、業界初の個人向け総合不動産コンサルティング企業です。1999年、不動産コンサルタント長嶋修が設立。第三者性を堅持した立場から、利害にとらわれない住宅診断（ホームインスペクション）やマンション管理組合向けコンサルティング、不動産購入に関する様々なアドバイスを行う「不動産の達人サービス」を提供、50,000組を超える実績を持っています。

株式会社さくら事務所

東京都渋谷区桜丘町 29-24 桜丘リージェンシー101

<https://www.sakurajimusyo.com/>

TEL 03-6455-0726 FAX 03-6455-0022 マーケティング・コミュニケーション部：川崎 徳子

Mail：press@sakurajimusyo.com

広報直通 LINE ID：@143newvt ※ LINE からもお気軽にお問合せください。